

カリキュラム

CURRICULUM

	1年次	2年次	3年次	4年次
ビジネスコース	不動産学基礎演習(必修) 財産法の基礎(必修) ミクロ経済学(必修) 都市計画の基礎(必修) 建築一般構造論(必修) 不動産取引演習A・B(必修) 不動産法入門(必修) 不動産公法(必修)	不動産学のための数学と統計(必修) 不動産取引演習C(必修)	Basic English for Real Estate Business(必修) Advanced English for Real Estate Business(必修) 不動産学研究(必修)	不動産学卒業演習(必修) 設計製図B 建築生産 卒業論文
		担保物権法/債権法/マクロ経済学/土地と住宅の経済学/会計学の基礎/経営分析/都市計画/測量と地図/地籍と不動産登記/不動産情報処理演習/ハウジング論/物権法		
		都市と建築の基本法/不動産政策史/都市と環境の経済学/不動産鑑定評価論/デザインの基礎演習/建築史/住宅計画/住宅地計画実習/不動産数理		
			借地借家法・区分所有法/開発行政法/会社法(必修)/家族法/不動産トラブルと法/不動産金融法・不動産税法/環境法/計量経済学/不動産金融論/不動産会計財務論/不動産ファイナンス/不動産経営戦略/集合住宅管理論/不動産経営計画/まちづくり演習/不動産管理演習/都市開発と社会基盤/都市環境と防災/建築計画/建築設備/不動産キャリアデザイン(必修)/海外不動産事情	
	不動産特別講義Ⅰ・Ⅱ/不動産特別演習Ⅰ～Ⅲ/不動産特別実習/不動産実務演習Ⅰ・Ⅱ			
ファイナンスコース	不動産学基礎演習(必修) 財産法の基礎(必修) ミクロ経済学(必修) 都市計画の基礎(必修) 建築一般構造論(必修) 不動産取引演習A・B(必修) 不動産法入門(必修) 不動産公法(必修)	不動産学のための数学と統計(必修) 不動産取引演習C(必修)	Basic English for Real Estate Business(必修) Advanced English for Real Estate Business(必修) 不動産学研究(必修)	不動産学卒業演習(必修) 設計製図B 建築生産 卒業論文
		担保物権法/債権法/マクロ経済学/土地と住宅の経済学/会計学の基礎/経営分析/都市計画/測量と地図/地籍と不動産登記/不動産情報処理演習/ハウジング論/物権法		
		都市と建築の基本法/不動産政策史/都市と環境の経済学/不動産鑑定評価論/デザインの基礎演習/建築史/住宅計画/住宅地計画実習/不動産数理		
			借地借家法・区分所有法/開発行政法/会社法/家族法/不動産金融法・不動産税法/環境法/計量経済学/不動産金融論(必修)/不動産会計財務論/不動産ファイナンス/法と政策の経済学/不動産経営戦略/集合住宅管理論/不動産経営計画/まちづくり演習/都市開発と社会基盤/建築計画/地理情報システム/海外不動産事情	
	不動産特別講義Ⅰ・Ⅱ/不動産特別演習Ⅰ～Ⅲ/不動産特別実習/不動産実務演習Ⅰ・Ⅱ			
デザインコース	不動産学基礎演習(必修) 財産法の基礎(必修) ミクロ経済学(必修) 都市計画の基礎(必修) 建築一般構造論(必修) 不動産取引演習A・B(必修) 不動産法入門(必修) 不動産公法(必修)	不動産学のための数学と統計(必修) 不動産取引演習C(必修)	Basic English for Real Estate Business(必修) Advanced English for Real Estate Business(必修) 不動産学研究(必修)	不動産学卒業演習(必修) 設計製図B 建築生産 卒業論文
		担保物権法/債権法/マクロ経済学/土地と住宅の経済学/会計学の基礎/経営分析/都市計画/測量と地図/地籍と不動産登記/不動産情報処理演習/ハウジング論/物権法		
		都市と建築の基本法/不動産政策史/都市と環境の経済学/不動産鑑定評価論 PICK UP /デザインの基礎演習(必修)/建築史/住宅計画(必修)/住宅地計画実習(必修)/不動産数理		
			開発行政法/不動産トラブルと法/環境法/計量経済学/不動産経営戦略/集合住宅管理論/不動産経営計画/まちづくり演習/不動産管理演習/都市開発と社会基盤/都市環境と防災/建築計画/設計製図A/建築環境計画/建築材料学/建築構造計画/インテリアデザイン演習/建築環境デザイン/建築設備/材料学実験/構造力学Ⅰ・Ⅱ/地理情報システム	
	不動産特別講義Ⅰ・Ⅱ/不動産特別演習Ⅰ～Ⅲ/不動産特別実習/不動産実務演習Ⅰ・Ⅱ			

※(必修)は必修科目、その他は選択科目。 ※開設する授業科目などは変更することがあります。

PICK UP | 不動産鑑定評価論

不動産の鑑定評価手法を、実践的プログラムから学ぶ。

1年次に身につけた不動産学の基礎をベースに、不動産の価格を精緻に評価する不動産鑑定評価基準を学修し、不動産の類型ごとに公平で公正な鑑定評価額の求め方を修得します。また、実際に現場を訪ね、周辺地域や建物の現状分析などフィールドワークを行う、実践的な学修の場を設けています。

